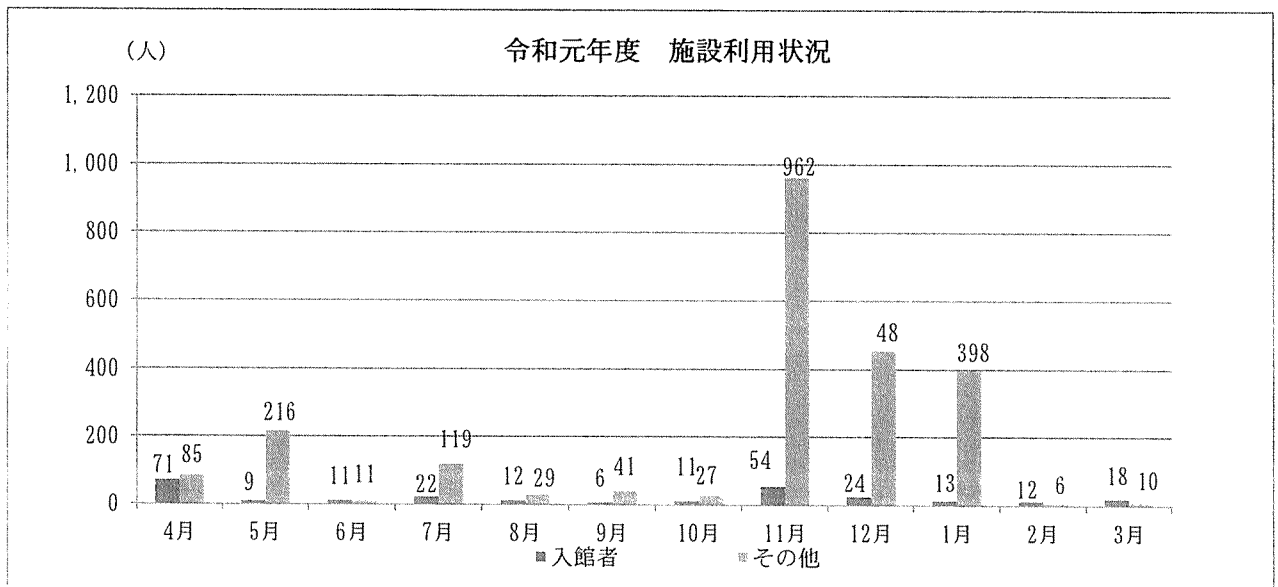


令和元年度 米子市埋蔵文化財センター事業報告書

1 施設利用状況

月	開館日数(日)	元年度常設展入館者(人)	30年度常設展入館者(人)	施設利用(件)	自主事業(件)	資料貸出(件)	資料利用(件)	図書利用(件)	利用内容等
				(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
4月	21	71	92	1 25	1 57	0 0	0 0	3 3	成実公民館ふれあい大学
5月	19	9	25	1 120	2 94	0 0	0 0	2 2	成実地区史跡ガイドウォーク、五千石小学校来館 尚徳小学校古代学習
6月	20	11	113	1 4	0 0	0 0	4 4	3 3	出雲弥生の森博物館の高橋氏の資料調査ほか
7月	24	22	37	3 0	2 107	1 1	4 11	0 0	インターンシップ、伯耆文化研究会講師派遣 車尾小古代学習
8月	22	12	34	1 0	2 8	1 1	3 11	0 0	公会堂夏祭り出前 パジャコ玉づくり体験
9月	19	6	12	0 0	2 37	1 1	3 3	0 0	考古学講演会①
10月	22	11	10	0 0	2 22	1 1	2 2	2 2	考古学講演会② 米子市文化財団フェスティバル
11月	20	54	11	1 44	3 907	0 0	3 9	2 2	南部地区公民館研修 山陰歴史館共催展、東大植田教授の歯石調査
12月	20	24	7	1 19	3 433	1 1	1 1	1 1	山陰歴史館共催展 考古学講演会③
1月	19	13	12	1 2	1 391	1 1	3 3	1 1	山陰歴史館共催展
2月	18	12	9	0 0	0 0	2 2	3 3	1 1	荒神谷博物館への貸出等
3月	21	18	12	0 0	0 0	0 0	8 8	2 2	出雲市の坂本氏、松江市の柳浦氏の資料調査
合計	245	263	374	10 223	20 2,056	8 8	34 55	17 17	※グラフのその他は自主事業を含む



2 主催事業実施状況

事業名		開催日	内 容		
			区分	入館者数(人)	
展示事業	常設展	「米子の遺跡と発掘調査」	通年	遺跡や出土品を通して米子の遺跡や発掘調査の理解を深める展示を行った。 会場：埋蔵文化財センター 観覧料：無料	
	令和元年度			263	
企画展	山陰歴史館との共催事業 「西伯耆の中世城館」	11/10(日) ～ 1/26(土)	西伯耆の城館の資料や出土品を展示した。 会場：米子市山陰歴史館		
			令和元年度	1,638	
教 育 普 及 事 業	ガイド	「史跡ガイドウォーク」 成実を歩く	5/25(土)	石井要害跡など成実地区の史跡ガイドウォークを実施した。 米子市成実 資料代：100円	
	令和元年度			22	
講 座 等	考古学講演会 第1回 山陰の古代の役所 第2回 上淀廃寺の歴史入門 第3回 古代の郡役所と生産遺跡	9/21(土) 10/27(日) 12/1(日)	古代の発掘調査の成果を解説する講座を実施した。 会場：米子市文化ホール研修室 資料代：100円 講師 米子市文化振興課 平山晃基主事 上淀白鳳の丘展示館 井上玲美学芸員 鳥取県埋蔵文化財センター 坂本嘉和文化財主事		
			令和元年度	84	
講 座 等	地域連携 講師派遣、出前講座、 体験学習等	4/16(木) ほか	P A J A 学童保育の学習の受入と成実公民館、むきばんだ史跡公園、南部地区公民館への講師派遣等。 会場：成実公民館、埋蔵文化財センターほか		
			令和元年度	163	
講 座 等	学校連携 古代学習の受け入れ 学校での古代学習	5/21(火) ほか	尚徳小学校3年生、車尾小の古代学習や体験学習を受け入れた。 会場：埋蔵文化財センター、車尾小		
			令和元年度	140	
講 座 等	インターンシップ受け入れ	7/3(木) ～ 7/5(土)	県立米子南高校生の職場体験を受け入れた。		
			令和元年度	9	
講 座 等	財団連携事業 米子市公会堂夏まつり 米子市文化財団フェスティバル	8/17(土) 10/5(土)	米子市公会堂夏まつりでは勾玉づくりを行った。 (25人 総数700人) 米子市文化財団フェスティバルでは「さむらいをやっつける！」 弓矢体験を行った。(435人 総数2,037人) 会場：米子市公会堂、湊山球場		
			令和元年度	(2,737)	
展示・教育普及事業計「連携事業を含む」			令和元年度	2,319	

() の人数は除く。

事業名		開催日	内 容			
			区分	件数	人数	
資料の保存・活用事業	調査・整理・研究・保管	通年	資料の調査・整理・研究・保管を行った。 (上淀廃寺跡、鮎ヶ口遺跡、河原田遺跡ほか)			
			令和元年度	4	—	1,000点
	収蔵品貸出管理		古代出雲歴史博物館、荒神谷博物館等へ貸出			
			令和元年度	7	7	78点
	収蔵品等研究利用		大学研究機関、調査機関等の調査・実見 (出土品・調査資料・報告書等の調査)			
			令和元年度	34	55	
	写真資料等貸出		遺跡・遺物写真利用			
	令和元年度	1	1	3点		
図書・報告書貸出	研究者・市民への図書等の貸出					
	令和元年度	17	17	113冊		
保存活用事業計		令和元年度	63	80		
情報発信・その他	埋蔵文化財センターたより発行	年4回	調査情報や遺跡の紹介やイベント情報の提供などを行った。			
		令和元年度	4	—		
	埋蔵文化財センター発刊物	3/31(火)	福市考古資料館・埋蔵文化財センターの年報、よなご大昔物語近代編を、資料整理報告書第4集等を発行した。			
		令和元年度	3	—		
	インターネットホームページ	通年	ホームページを更新し、施設イベント情報やセンターたよりを提供した。			
	鳥取県ミュージアムネットワーク	通年	県内博物館のネットワークへ参加し情報の交換を行った。			
	図書等販売	通年	「上淀廃寺の美」、ペーパークラフト等の販売を行い、収入の一助とした。			
施設・設備利用	通年	研究機関等の研究会・研修会等で施設・設備利用				
	令和元年度	7	223			
合 計		展示室	263			
		事業ほか	2,359			

3 特記事項

(1) 建物及び設備、備品管理の充実

- ①日々の目視確認を行い、管理記録を適切に記録・保管し、建物及び設備、備品の維持管理に努めた。
- ②樹木の剪定、花壇の植栽を行い、外構環境の整備、維持に努めた。
- ③日常の館内外清掃及び除草作業を行い、敷地内全体が清潔に保たれるよう努めた。
- ④空調機の修繕、自火報の修繕、ガス器具交換、収納棚増設など施設設備の整備を図った。

(2) 利用者へのサービス提供

- ①寄贈等の資料・図書の目録作成・登録を順次行い資料整理に努め、利用しやすいようにリストを作成した。
- ②館蔵品の貸出・利用許可等については、個人情報保護等を配慮しながらスムーズ且つ迅速に対応し、利用者の利便をはかり平等な利用に努めた。
- ③施設利用等に対して休館日も臨時開館を実施し、利用促進を図った。
- ④学校、団体の学習等の館外活動に適宜対応し、学習の提供を図った。
- ⑤展示室の展示品の入れ替えを行い、埋蔵文化財の理解が進むように努めた。
- ⑥学校、公民館等への出前講座、史跡現地での出前ガイドを行い普及に努めた。

(3) 他施設との連携と情報発信

- ①財団施設との連携及び、米子市歴史系三館、県内外の博物館等との連携を図り、幅広い事業内容の展開に努めた。
- ②ホームページの更新を随時行い、行事案内や発掘情報の提供を図った。
- ③「埋蔵文化財センターたより」を作成し、情報発信に努めた。
- ④「米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報」を館活動の記録として刊行した。
- ⑤遺跡の理解を促進するために解説書「よなご大昔物語」近代編を発刊した。
- ⑥未整理品の整理を行い「米子市埋蔵文化財センター資料整理報告第4集」を発刊した。

令和元年度 事業報告補足資料

1 施設名 米子市埋蔵文化財センター

2 事業概要

(1) 原始古代史を学ぶ機会の提供推進

① 展示事業の開催

- ・常設展：展示品の入れ替えを行い、内容の充実を図った。
展示テーマ「米子の遺跡と発掘調査」

② 教育普及事業の推進

- ・市内遺跡探訪ウォークの開催
「成実を歩く」を実施した。
- ・考古学講演会・考古学教室の開催
考古学研究者を招聘して考古学講演会を開催した。
出土品の理解を深めるため考古学の体験学習教室を開催した。
- ・学校、公民館対応などへの出前
講師を派遣して出前講座を行った。
なかよし学級、小学校古代学習など市内の小学生の体験学習の受入を行った。
- ・米子市文化財団連携事業
「さむらいをやっつけろ！」弓矢体験を実施した。

(2) 埋蔵文化財資料の整理・保管・研究、活用の促進

- ・収蔵、寄贈資料の目録作成並びに調査と良好な保管など
- ・収蔵資料の館外貸出対応並びに資料の閲覧・貸出対応など

(3) 情報の発信

- ・インターネットホームページによる情報発信
- ・「米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報」の発行
- ・遺跡の解説書「よなご大昔物語」近代編の発行
- ・「米子市埋蔵文化財センター資料整理報告第4集」の発行

3 施設における課題や問題点とその対応

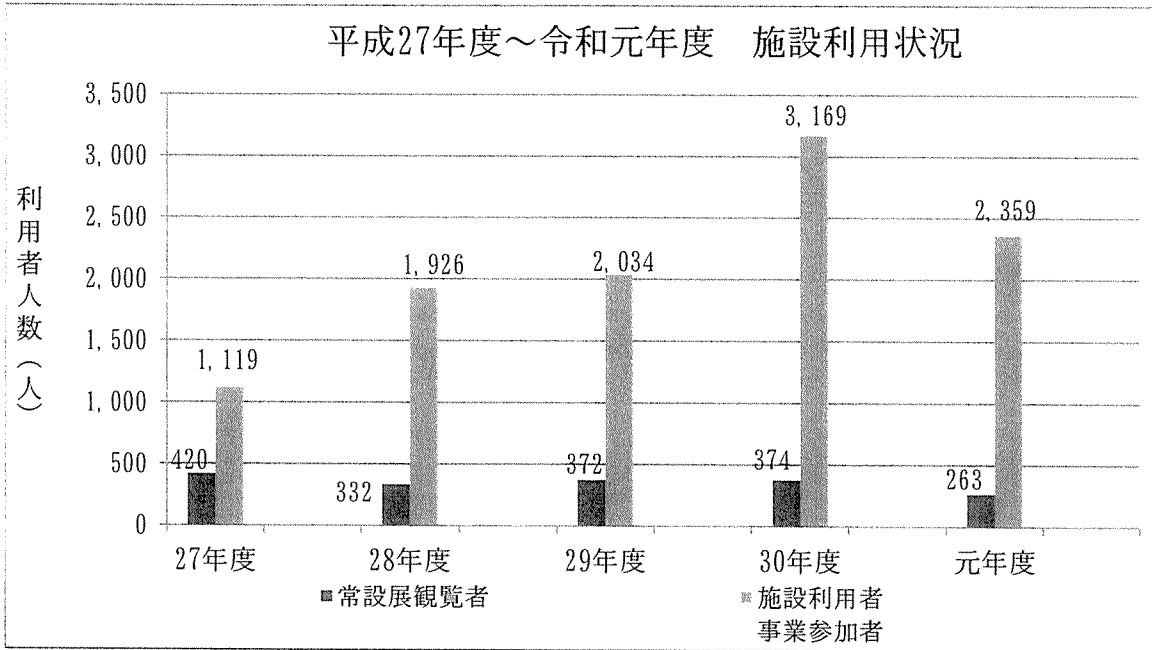
(1) 老朽化による施設・設備の課題

- ・空調設備の一部の修繕措置を実施したが、全体に老朽化したものが多い。
- ・建物老朽化による雨漏等の根本的対策は困難性が高い。

(2) 利用者増加対策の課題

- ・情報発信の促進による利用者増対策を図ったが、施設の性格上専門性が高く、一般利用者が増加しないという課題がある。
- ・福市考古資料館と連携し、出前等の館外事業を促進して利用の増加を図りたい。

令和元年度 米子市埋蔵文化財センター運営状況



	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
常設展観覧者	420	332	372	374	263
施設利用者事業参加者	1,119	1,926	2,034	3,169	2,359
計	1,539	2,258	2,406	3,543	2,622

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数	21	19	20	24	22	19	22	20	20	19	18	21